

編集後記

21 世紀の先進医療の花形である再生医療や遺伝子治療の目標は、国民の理解を得ながら、個々の患者の病態に基づいた個別化医療を実践することであるといわれる。それでは 21 世紀の精神医療はどうあるべきであろうか？ 先進医療にならって考えると、国民の理解は、精神疾患への偏見と差別を減らすことであり、個別化医療は、精神疾患の病態を明らかにして、個々の患者の経過、転帰、治療反応性に関する特性に応じた適切な医療を提供することといえるだろう。しかし、現在、我々が使用している診断学は個々の患者の経過や転帰を予測できないという問題を抱えている。統合失調症ですら経過や転帰は多様であり、現在、数年後を目標に行われている DSM と ICD の改訂作業において、統合失調症などの疾患カテゴリーの再編成を検討している背景にはこうした問題がある。しかし、残念ながら現時点では経過や転帰までも読み取れるような診断体系を再構築することは難しいようで、おそらく十数年後に行われると思われる次の改訂まで、大きな課題としてこの問題は続くだろう。

ところで、近年めざましく発展してきている精神病の早期介入研究では、介入のタイミングとその内容、介入による経過や転帰への影響がきわめて重要な論点になっている。この領域の研究の発展に伴って発病前から発病後の経過に関する疾患の“軌跡”が明確になりつつあり、疾病を考える際の“生涯的視点”の重要性が増してきている。白石弘巳氏の巻頭言はまさに患者の生活にかかわる生涯的視点の重要性を指摘している。今回の特集では、「統合失調症の予後改善に向けての新たな戦略」と題して、現在の治療や介入が果たして経過や転帰を改善することができるのかという観点で各領域からご寄稿いただいた。経過や転帰を論じる場合、症状や機能の客観的回復だけではなく、患者の主観的回復までのトータルな、しかも生涯的視点が求められている。さまざまな治療法や介入法が登場してきている中、それらの限界と可能性を正しく認識して、まだまだ不十分な精神医療を向上させるための共通認識を持つ時機がきているように思う。(H.M.)

■ 編集委員

朝田 隆
飯森眞喜雄
井上 新平
小島 卓也
松本 英夫
松岡 洋夫
三國 雅彦
(ABC 順)

精神医学 (第 53 巻 第 2 号)

2011 年 2 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

[2011 年年間購読料 (税込, 送料弊社負担)
冊子のみ 30,600 円, 冊子 + 電子版 39,800 円, 電子版 / 個人
30,600 円, 電子版 / 共有 35,190 円]

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎
Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

・ **JCOPY** (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。